

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2016年1月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2017年12月号

特集

周産期ボンディング障害を知っていますか？

周産期ボンディングとは、親から子への情緒的な絆のことを言い、アタッチメントとは異なる概念です。近年、日本においても話題にのぼるようになってきました。周産期ボンディングの基本的な知識や、臨床での事例にどう対応するかを発展的に学ぶ特集です。



2017年11月号

特集

ダウン症のある児をもつ親の将来の不安に寄り添う

ダウン症のある子どもを育てる親御さんの将来への不安は、計り知れません。出生直後に湧き出るその不安を、そばに在る助産師が少しでも軽減し、将来の見通しがアドバイスできるような情報を集めました。／特集2はICMトロント大会レポート。

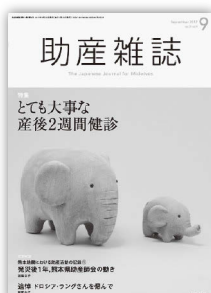


2017年10月号

特集

助産師は父親をどう支えるか

母親の負担を少しでも減らすためのキーパーソンは父親です。子どもを迎える家庭において、母親の心身をよい状態に保つために、助産師はどのように父親にアプローチすればよいのでしょうか。妻と夫の溝を埋めるための支援について考えます。



2017年9月号

特集

とても大事な産後2週間健診

研究結果をもとに母親のメンタルヘルスクエアを重視して、2017年度から産婦健康診査事業で産後2回分の健診費用の助成が開始されました。本特集では、すでに産後2週間健診を実施している施設の実践例を参考に、早期の産後健診がいかに重要かを考えます。



2017年8月号

特集

大学院で助産を学び直す

臨床現場で湧き出た疑問を原動力に、大学院での学び直しを考えている助産師も少なくないようです。大学院教育の動向および展望、学び直すことの意義、そして実際に大学院で学んだ方に体験を語っていただきました。また、7つの大学院の特色についても紹介します。



2017年7月号

特集

妊産婦の筋・骨格を理解して助産ケアへ活かす！
妊娠を機に、女性の身体は変化します。筋・骨格を意識した身体の構造を理解することが、効果的な助産ケア、ひいてはスムーズな分娩につながります。今回は理学療法分野の専門家にも、根拠がより明確になる情報をご提供いただきました。

2017年 特集

- 6月号 超音波検査の今と助産師のかかわり方
- 5月号 がんばってます、新人助産師教育
- 4月号 周産期のメンタルヘルスのために助産師ができること、すべきこと
- 3月号 産後ケアを成功に導くコツ
- 2月号 院内助産の新しい形 クリニック・病院併設助産所の取り組み
- 1月号 麻酔分娩に、どう向き合うか

2016年 特集

- 12月号 赤ちゃんのもつ力を最大限に引き出す母乳育児支援